



2024年度 第2四半期（中間期） 決算説明資料

2024年11月15日
東武鉄道株式会社

I．決算サマリ	P 02
II．2024年度 2 Q（中間期）実績	P 04
III．2024年度 通期見通し	P 14
IV．長期経営ビジョンの実現・ 中期経営計画の推進	P 22

■ 2024年度第2四半期(中間期)実績

営業収益

- 旅行業において受託収入の減があるものの、鉄道業・ホテル業・スカイツリー業において国内外の旅行需要の増等により、**3,019億円** (対前年△2.1%、通期見通し進捗率**47.3%**)

営業利益・ 経常利益・ 親会社株主 に帰属する 中間純利益

- 営業収益の減少により、
営業利益は**384億円** (対前年△1.6%、通期見通し進捗率**56.6%**)
- 経常利益は**373億円** (対前年△2.2%、通期見通し進捗率**57.5%**)
- 親会社株主に帰属する中間純利益は**253億円**
(対前年△3.9%、通期見通し進捗率**52.2%**)
- 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益は前年に次ぐ
過去2番目の水準

※通期見通し進捗率はP. 3 記載の2024年度通期予想に対する進捗率であります。

※セグメント毎の詳細はP. 9～13をご参照ください。

■ 2024年度通期業績予想

営業収益

- 旅行業において団体旅行収入が想定を下回るものの、鉄道業・ホテル業・百貨店業において当初想定を上回るものと見込み、営業収益は**6,390億円** (対前回発表予想**±0.0%**)

営業利益・ 経常利益

- 鉄道業・ホテル業・百貨店業における営業収益の増加等により**増益**
営業利益は**680億円** (対前回発表予想**+9.7%**)
経常利益は**650億円** (対前回発表予想**+12.1%**)

親会社株主 に帰属する 当期純利益

- 投資有価証券売却益の増加等により**増益**
- 昨年度を上回り、**2期連続の過去最高益**となる**485億円**
(対前回発表予想**+12.8%**)

配当金

- 増益に伴い年間配当金は**55円**に**増配** (対前回発表予想**+5円**)
中間：25.00円→**27.50円**へ増配
期末：25.00円→**27.50円**へ増配予定

※セグメント毎の詳細はP.17～21をご参照ください。

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 — 連結子会社・持分法適用会社数



連結子会社数	2024.3	増加	減少	2024.9	備考
運輸	27	—	—	27	
レジャー	15	—	—	15	
不動産	3	—	—	3	
流通	8	—	—	8	
その他	15	—	—	15	
合計	68	—	—	68	

持分法適用会社数	2024.3	増加	減少	2024.9	備考
運輸	1	—	—	1	
レジャー	2	—	—	2	
不動産	—	—	—	—	
流通	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	
合計	3	—	—	3	

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 ― 中間連結損益計算書



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	301,996	308,582	▲6,586	運輸 +4,354 レジヤー ▲10,341 不動産 +414 流通 +1,519 その他 +184
営業利益	38,478	39,087	▲609	運輸 +2,234 レジヤー ▲4,742 不動産 +912 流通 +870 その他 +440
経常利益	37,374	38,200	▲826	
特別利益	704	627	77	
特別損失	1,499	1,093	406	
親会社株主に帰属する 中間純利益	25,339	26,375	▲1,035	
売上高営業利益率	12.7%	12.7%	0.0P	
減価償却費	26,168	25,713	454	
EBITDA	64,646	64,801	▲154	
設備投資	14,458	14,574	▲116	

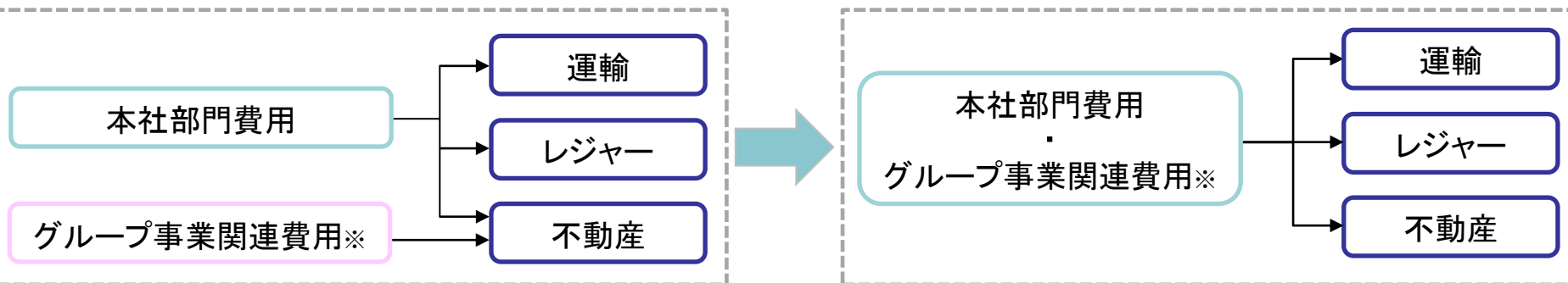
Ⅱ. 2024年度 2Q（中間期）実績 — セグメント別営業収支

単位：百万円		2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減
運輸事業	営業収益	107,816	103,461	4,354
	営業利益	17,878	15,643	2,234
レジャー事業	営業収益	82,038	92,380	▲10,341
	営業利益	8,447	13,189	▲4,742
不動産事業	営業収益	25,180	24,766	414
	営業利益	7,319	6,406	912
流通事業	営業収益	84,387	82,868	1,519
	営業利益	2,998	2,127	870
その他事業	営業収益	38,556	38,371	184
	営業利益	2,803	2,362	440
調整額	営業収益	▲35,983	▲33,266	▲2,716
	営業利益	▲967	▲642	▲325
合計	営業収益	301,996	308,582	▲6,586
	営業利益	38,478	39,087	▲609

【セグメント情報に係る主な変更点】

2024年度第2四半期（中間期）決算短信P.7～8記載のとおり、当中間連結会計期間より、従来主に不動産事業の費用としていたTOBU POINT及びグループ事業統括部に係る費用（グループ事業関連費用※）について各セグメントへの配賦へと変更いたしました。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、遡及適用後の数値となっております。



Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 — 中間連結貸借対照表



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 実績	増減	備考
流動資産	172,175	168,953	3,222	
固定資産	1,528,223	1,535,110	▲6,886	
資産合計	1,700,399	1,704,063	▲3,664	
流動負債	411,803	386,322	25,480	
固定負債	748,075	776,027	▲27,952	
負債合計	1,159,878	1,162,350	▲2,471	
純資産合計	540,521	541,713	▲1,192	
負債純資産合計	1,700,399	1,704,063	▲3,664	
自己資本比率	31.4%	31.4%	▲0.0P	
有利子負債残高	771,244	749,777	21,466	

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績

— 中間連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,583	35,475	3,107	仕入債務の減+994
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲30,940	▲29,126	▲1,814	固定資産取得による支出▲800
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,864	▲26,665	23,801	有利子負債の調達を増+44,667
現金及び現金同等物の増減額	4,852	▲20,279	25,131	
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,110	48,794	▲12,684	

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 — 運輸事業



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	107,816	103,461	4,354	
鉄道	80,719	77,801	2,918	
その他	27,096	25,660	1,436	バス・タクシー業 + 1,129 貨物運送業 + 302
営業利益	17,878	15,643	2,234	
鉄道	15,648	13,857	1,791	
その他	2,229	1,786	442	バス・タクシー業 + 589 貨物運送業 ▲146
減価償却費	15,520	15,296	223	
EBITDA	33,398	30,940	2,458	
設備投資	7,809	7,830	▲21	

東武鉄道 旅客人員 (単位：百万人)	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績	東武鉄道 旅客収入 (単位：百万円)	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績
定期	275	270	定期	31,098	30,386
定期外	161	154	定期外	41,811	39,682
(特急)	3	3	(特急)	3,495	2,964
合計	435	425	合計	72,909	70,068

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

※P.6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 2Q実績」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 ― レジャー事業



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	82,038	92,380	▲10,341	
旅行	52,085	67,034	▲14,949	
ホテル	16,337	12,577	3,759	
スカイツリー	8,167	7,350	817	
その他	5,447	5,417	30	遊園地・観光業 +40 スポーツ業 +16
営業利益	8,447	13,189	▲4,742	
旅行	1,195	7,858	▲6,663	
ホテル	3,056	1,254	1,802	
スカイツリー	3,620	3,406	214	
その他	574	670	▲96	遊園地・観光業 +21 スポーツ業 ▲118
減価償却費	3,272	2,746	526	
EBITDA	11,720	15,936	▲4,216	
設備投資	1,652	2,089	▲437	

入場者数 (単位：万人)	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績	主なホテル 稼働率	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績	主なホテル 外国人比率	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績
スカイツリー	236	221	CY銀座	86.9%	13.0%	CY銀座	82.5%	76.9%
			AC銀座	79.0%	85.5%	AC銀座	84.4%	70.9%
			錦糸町	90.1%	87.0%	錦糸町	81.5%	73.9%
			成田	85.8%	81.8%	成田	70.8%	61.4%

※P.6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 2Q実績」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

※CY銀座 2023年5月～11月改修のため宿泊部門クローズ。

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 ― 不動産事業



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	25,180	24,766	414	
賃貸	17,025	17,276	▲250	
タウン	6,440	6,151	288	
分譲	1,714	1,338	375	
営業利益	7,319	6,406	912	
賃貸	4,932	4,431	500	
タウン	2,052	1,845	207	
分譲	334	129	204	
減価償却費	4,918	5,164	▲246	
EBITDA	12,237	11,571	666	
設備投資	3,307	2,666	641	

来場者数 (単位：万人)	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績
スカイツリータウン	1,859	1,838

分譲販売戸数	2024 2Q 実績	2023 2Q 実績
戸建住宅	24戸	14戸
マンション	62戸	69戸
持分換算後分譲販売戸数		
戸建住宅	11戸	7戸
マンション	24戸	27戸

※P.6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 2Q実績」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 ― 流通事業



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	84,387	82,868	1,519	
百貨店	28,767	28,692	75	
ストア	36,874	36,392	482	
その他	18,745	17,783	961	
営業利益	2,998	2,127	870	
百貨店	1,661	1,138	522	
ストア	365	4	361	
その他	971	984	▲13	
減価償却費	1,653	1,757	▲103	
EBITDA	4,651	3,884	767	
設備投資	1,201	1,475	▲274	

主要百貨店 売上増減率	2024 2Q実績 対前年
池袋	▲0.6%
船橋	4.8%
宇都宮	0.7%

Ⅱ．2024年度 2Q（中間期）実績 ― その他事業



単位：百万円	2024 2Q実績	2023 2Q実績	増減	備考
営業収益	38,556	38,371	184	
営業利益	2,803	2,362	440	
減価償却費	803	747	55	
EBITDA	3,606	3,110	495	
設備投資	487	513	▲26	

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― 連結損益計算書



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	639,000	635,964	3,036	運輸 +6,765 レジャー ▲10,461 不動産 ▲3,175 流通 +8,030 その他 ▲5,073	639,000	0
営業利益	68,000	73,883	▲5,883	運輸 +1,522 レジャー ▲4,825 不動産 ▲3,743 流通 +2,369 その他 ▲1,751	62,000	6,000
経常利益	65,000	72,033	▲7,033		58,000	7,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	48,500	48,164	336		43,000	5,500
売上高営業利益率	10.6%	11.6%	▲1.0P		9.7%	0.9P
営業利益ROA※	3.9%	4.3%	▲0.4P		3.6%	0.3P
ROE※	8.9%	9.5%	▲0.6P		7.8%	1.1P

※ 営業利益ROA=連結営業利益÷{(期首総資産+期末総資産)÷2}

※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷{(期首自己資本+期末自己資本)÷2}

※ 計画値は2024年4月30日発表のものを使用。(P.14～P.21)

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― セグメント別営業収支



単位：百万円		2024 見込	2023 実績	増減	2024 計画	増減
運輸事業	営業収益	215,100	208,335	6,765	212,300	2,800
	営業利益	30,000	28,478	1,522	28,200	1,800
レジャー事業	営業収益	174,300	184,761	▲10,461	185,000	▲10,700
	営業利益	14,600	19,425	▲4,825	13,700	900
不動産事業	営業収益	59,800	62,975	▲3,175	58,800	1,000
	営業利益	13,300	17,043	▲3,743	12,100	1,200
流通事業	営業収益	174,000	165,970	8,030	170,300	3,700
	営業利益	7,400	5,031	2,369	5,300	2,100
その他事業	営業収益	86,800	91,873	▲5,073	86,300	500
	営業利益	4,200	5,951	▲1,751	3,800	400
調整額	営業収益	▲71,000	▲77,951	6,951	▲73,700	2,700
	営業利益	▲1,500	▲2,047	547	▲1,100	▲400
合計	営業収益	639,000	635,964	3,036	639,000	0
	営業利益	68,000	73,883	▲5,883	62,000	6,000

※P.6記載のとおり、2024年度2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 実績」および「2024 計画」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― 連結キャッシュ・フロー計画



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
EBITDA	122,000	126,799	▲4,799		115,900	6,100
営業利益	68,000	73,883	▲5,883		62,000	6,000
減価償却費	54,000	52,916	1,084		53,900	100
有利子負債残高	785,000	749,777	35,223		774,000	11,000
有利子負債/EBITDA倍率	6.4	5.9	0.5		6.7	▲0.3
設備投資	102,000	63,353	38,647		100,600	1,400

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― 運輸事業



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	215,100	208,335	6,765		212,300	2,800
鉄道	160,600	156,602	3,998		158,900	1,700
その他	54,500	51,733	2,767	バス・タクシー業 + 1,624 貨物運送業 + 1,134	53,400	1,100
営業利益	30,000	28,478	1,522		28,200	1,800
鉄道	26,500	25,006	1,494		24,600	1,900
その他	3,500	3,471	29	バス・タクシー業 + 56 貨物運送業 ▲26	3,600	▲100
営業利益ROA	3.0%	2.9%	0.1P		2.9%	0.1P
減価償却費	32,000	31,546	454		31,900	100
EBITDA	62,000	60,024	1,976		60,100	1,900
設備投資	47,300	38,803	8,497		47,800	▲500

東武鉄道 旅客人員 (単位：百万人)	2024 見込	2023 実績	2024 計画
定期	531	524	525
定期外	323	313	317
(特急)	6	6	6
合計	854	837	842

東武鉄道 旅客収入 (単位：百万円)	2024 見込	2023 実績	2024 計画
定期	60,829	59,856	60,416
定期外	84,006	81,042	82,934
(特急)	7,089	6,320	6,801
合計	144,835	140,898	143,351

※定期外旅客収入は、特急料金、座席指定料金を含む。

※P. 6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 実績」および「2024 計画」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― レジャー事業



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	174,300	184,761	▲10,461		185,000	▲10,700
旅行	113,500	131,247	▲17,747		126,500	▲13,000
ホテル	33,500	27,701	5,799		31,400	2,100
スカイツリー	16,300	15,192	1,108		15,900	400
その他	11,000	10,618	382	遊園地・観光業+154 スポーツ業+241	11,200	▲200
営業利益	14,600	19,425	▲4,825		13,700	900
旅行	1,300	8,974	▲7,674		2,000	▲700
ホテル	5,800	3,147	2,653		4,300	1,500
スカイツリー	6,200	6,109	91		6,100	100
その他	1,300	1,194	106	遊園地・観光業+141 スポーツ業▲59	1,300	0
営業利益ROA	5.5%	7.4%	▲1.9P		5.2%	0.3P
減価償却費	6,700	5,934	766		6,400	300
EBITDA	21,300	25,360	▲4,060		20,100	1,200
設備投資	31,200	10,033	21,167		30,900	300

入場者数 (単位：万人)	2024 見込	2023 実績	2024 計画
スカイツリー	464	447	449

主なホテル 稼働率	2024 見込	2023 実績	2024 計画
CY銀座	86.2%	24.7%	83.5%
AC銀座	80.4%	84.0%	80.1%
錦糸町	86.1%	87.2%	83.6%
成田	85.8%	81.2%	83.0%

※P.6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 実績」および「2024 計画」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

※CY銀座 2023年5月～11月改修のため宿泊部門クローズ。

Ⅲ. 2024年度 通期見通し — 不動産事業



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	59,800	62,975	▲3,175		58,800	1,000
賃貸	37,000	35,875	1,125		37,100	▲100
タウン	13,000	12,611	389		12,400	600
分譲	9,800	14,488	▲4,688		9,300	500
営業利益	13,300	17,043	▲3,743		12,100	1,200
賃貸	9,200	9,202	▲2		9,000	200
タウン	3,300	3,595	▲295		2,700	600
分譲	800	4,245	▲3,445		400	400
営業利益ROA	3.7%	4.9%	▲1.2P		3.4%	0.3P
減価償却費	10,200	10,298	▲98		10,200	0
EBITDA	23,500	27,341	▲3,841		22,300	1,200
設備投資	15,600	9,707	5,893		13,200	2,400

来場者数 (単位：万人)	2024 見込	2023 実績	2024 計画
スカイツリータウン	3,729	3,716	3,702

分譲販売戸数	2024 見込	2023 実績	2024 計画
戸建住宅	54戸	42戸	56戸
マンション	465戸	410戸	465戸

持分換算後分譲販売戸数

	2024 見込	2023 実績	2024 計画
戸建住宅	30戸	26戸	32戸
マンション	207戸	313戸	207戸

※P.6 記載のとおり、2024年度 2Q（中間期）に行ったセグメント情報に係る変更に伴い、「2023 実績」および「2024 計画」を変更後の報告セグメントに組み替えて表示しております。

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― 流通事業



単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	174,000	165,970	8,030		170,300	3,700
百貨店	61,800	58,082	3,718		59,100	2,700
ストア	75,200	72,766	2,434		75,000	200
その他	37,000	35,121	1,879		36,200	800
営業利益	7,400	5,031	2,369		5,300	2,100
百貨店	5,200	3,223	1,977		3,200	2,000
ストア	800	41	759		700	100
その他	1,400	1,766	▲366		1,400	0
営業利益ROA	5.7%	3.9%	1.8P		4.0%	1.7P
減価償却費	3,400	3,587	▲187		3,700	▲300
EBITDA	10,800	8,619	2,181		9,000	1,800
設備投資	6,000	3,549	2,451		6,700	▲700

主要百貨店 売上増減率	2024 見込 対前年	2024 計画 対前年
池袋	7.6%	1.2%
船橋	3.9%	1.1%
宇都宮	3.7%	3.9%

Ⅲ. 2024年度 通期見通し ― その他事業

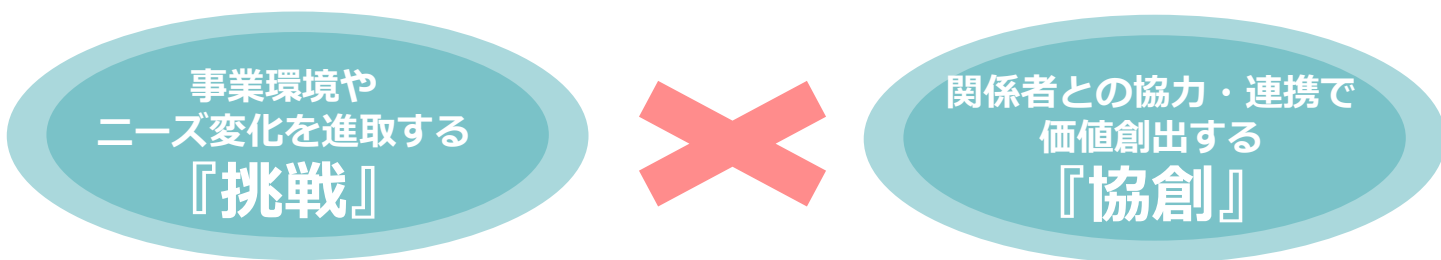


単位：百万円	2024 見込	2023 実績	増減	備考	2024 計画	増減
営業収益	86,800	91,873	▲5,073		86,300	500
営業利益	4,200	5,951	▲1,751		3,800	400
営業利益ROA	1.5%	2.2%	▲0.7P		1.3%	0.2P
減価償却費	1,700	1,548	152		1,700	0
EBITDA	5,900	7,500	▲1,600		5,500	400
設備投資	1,900	1,258	642		2,000	▲100

10年後を見据えた長期経営ビジョンと経営戦略方針

ー 長期経営ビジョン ー

「挑戦と協創で進化させる社会と沿線」



長期経営ビジョン実現に向けた3つの経営戦略方針

- 1 -

営業利益段階における
非鉄道事業割合の増加

- 2 -

観光需要を捉えた
収益力強化

- 3 -

持続的な
事業運営体制の確立

10年後営業利益 **800億円**を目指す

池袋駅西口地区再開発の推進による開発事業の強化に向けて

■ 池袋駅西口地区再開発計画の推進（2024年11月11日都市計画決定）

方針 1

新たな都市の顔となりウォーカブルなまちづくりを推進する都市基盤の整備



▲歩行者空間（アゼリア通り）



▲駅まち結節空間

方針 2

「国際アート・カルチャー都市」として世界から人々を呼び込む都市機能の導入



▲東武東上線上空広場
アート・カルチャーイベント(例)



▲グローバルブランドホテル（例）



▲計画全体イメージ

方針 3

防災対応力強化と
環境負荷低減への取り組み

当社を代表する拠点である池袋のポテンシャルを最大限引き出す

IV. 長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

池袋駅西口地区再開発の推進による開発事業の強化に向けて

■ 池袋駅西口地区再開発計画の推進（2024年11月11日都市計画決定）

【計画概要】

【第1期竣工】
2030年代半ば

【第2期竣工(街びらき)】
2040年代



当社単独 施行街区

【B棟低層部】（第2期竣工予定）
地上9階/地下3階、高さ：約60m
主要用途：商業施設、駅施設など

- ◆ 駅からまちへ人々を誘導する交通結節点となる「アトリウム空間」の整備
- ◆ 東武東上線の線路上空にアート・カルチャーの活動拠点となる広場空間を創出
- ◆ 池袋駅を3面3線から3面4線化するとともに高品質な駅空間を整備

→池袋エリア内の回遊性向上
沿線内外からの人流の創出
を実現



▲当社街区イメージ

組合施行 街区

【C棟】（第1期竣工予定）
地上33階/地下6階
高さ：約185m

【B棟高層部】（第1期竣工予定）
地上50階/地下5階
高さ：約270m

【A棟】（第2期竣工予定）
地上41階/地下4階
高さ：約220m

駅とまちの一体的な再開発により、グループシナジーの最大化・収益拡大を実現する

ホテル事業の展開による観光需要の取り込み最大化に向けて

■新規ホテル開発、既存ホテルのリニューアルを推進

【主な計画】

【新設】日本橋三丁目(八重洲) ホテル計画

東京駅至近の好立地を活かして、インバウンドをメインターゲットとした高単価・高効率なホテルを計画

【新設】銀座ホテル計画

【リニューアル】日光金谷ホテル

外資との連携を視野に、訪問・滞在が目的となる地域特性を活かしたホテルを検討

【2024年度】
3,188室

【2030年代半ば】
4,000室超
を目指す

【2024年度】
営業収益
314億

【2030年代半ば】
営業収益
500億超
を目指す

変動が著しい事業環境下においても
営業利益の最大化を図り、
今後約10年を目途に部屋数4,000室超、
営業収益500億超を目指していく

インバウンドをはじめ旺盛な観光需要を取り込み、鉄道・開発に次ぐ事業の柱に育成

生体認証サービス「SAKULaLa」の社会プラットフォーム化を目指して

サクッとララな毎日へ。



ー 他の生体認証サービスと比較したSAKULaLaの強み ー

1. スピーディーな導入

タブレットと認証端末だけで導入可能



2. 複数の認証方法に対応

ユースケースにあわせ、
指静脈と顔両方の認証に対応

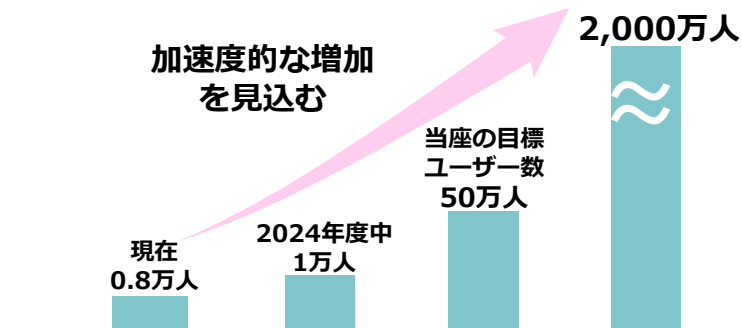


3. 主要ポイントとの連携

各種ポイントサービスなどと連携



ユーザー数推移



事業スキーム



長期的には、ユーザー数2,000万人超の社会プラットフォームを目指す

IV. 長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

生体認証サービス「SAKULaLa」の社会プラットフォーム化を目指して

東武ストアでの実績

レジ時間の削減

レジでの平均所要時間

50秒→**25秒**

高いお客様満足度

非常に満足～普通

約9割

継続したサービス利用

継続利用率

約7割

購買頻度・売上の増加

サービス登録後の購買頻度・売上

+25%

「サクッとラクに使える利便性」が継続利用率や購買頻度・売上にもあらわれている

加盟店拡大計画

◆東武ストア



◆花王ポップアップストア

- 東京ソラマチ
- 西鉄ソラリアステージ



◆越谷・川越飲食店等

◆東京スカイツリー オフィシャルショップ

◆東武ホテル



◆上新電機



◆TJライナー



◆東武スポーツ



◆ファミリーマート



順次拡大

2024年度

2025年度

2026年度

早期にユーザー数50万人を達成すべく、加盟店開拓を推進

IV. 長期経営ビジョンの実現・中期経営計画の推進

デジタルマーケティングの強化による収益拡大の実現を目指して



「新 東武カード」発行

2025年春発行開始予定

東武カード誕生40年を節目に
「スタイリッシュ&パワフル」をテーマとして刷新

1 ラインナップ拡大

スタンダード・ゴールド・VIP
3種類のグレードにより
多様なニーズを取り込む



目標：2030年代半ばの東武カード取扱高 約5,000億円
(2023年度 約1,200億円)

2 モバイル化対応

スマートフォンでの
タッチ決済に対応し、
利便性を大幅に向上



東武グループ内外での取得データ範囲拡大



新チケットレスサービス「トブチケ！」開始

2025年1月より順次サービスイン

トブチケ!

1 ポイント付与対象の拡大

東武カードでの決済のみ



2 1 ID化の実現

特急券等の利用データが
TOBU Group IDと紐づく

他社クレカでの決済を含む
TOBU POINT会員全体



目標：2030年代半ばのTOBU POINT会員数 約230万人
(2023年度 約94万人)
(現行の特急券チケットレスサービス会員数 約18万人)

TOBU POINT会員の裾野拡大

仮説に基づく
マーケティング強化
(今後も継続)



AI解析による
顧客理解の深度化
(2025年度実装予定)

ユーザー単位で整理された蓄積データのAI解析を通じて、単価・頻度増大につなげる

鉄道における持続的な事業運営に向けて

■ 収益の拡大と事業の効率化を並進



収益の拡大に向けて

- ◆AI需要予測によるダイヤ・料金設定の最適化
→季節波動等を織り込んだ特急の増発・
料金設定による需要喚起・収益拡大の検討
- ◆新チケットレスサービス「トブチケ！」開始
→改札機データをはじめとする各種データ統合
を通じて、ライナー利用者等の新規開拓強化
- ◆新たな輸送ネットワーク構築に合わせた検討推進
→地下鉄有楽町線延伸によるアクセス向上を捉えた
沿線価値向上施策の検討



事業の効率化に向けて



- ◆自動運転の実現
→大師線自動運転対応新造車両の導入
(2026～2027年度4編成)
2028年度以降に検証運転実施へ
- ◆ワンマン運転の拡大
→東武スカイツリーライン緩行線(2025年度末)
に加え、将来は全線での実施へ
- ◆新型車両(80000系)の導入(2024年度5編成)
→消費電力を現行8000系と比べ40%以上削減

- ◆収入原価算定要領改正に基づいた運賃改定の検討
- ◆災害対応など新たな料金制度実現への働きかけ

複雑かつ速いスピードで変化する外部環境に対応できる事業運営を推進

インバウンド需要をはじめとする観光需要の取り込み最大化を目指して

国際エコリゾート日光の価値最大化

観光体験の強化



地域連携による
エリア価値向上

「国際エコリゾート日光」のブランド確立

■ スペースXの需要取り込み



好評を受けて2024年3月より増発するとともに、特別座席料金改定を実施し、毎日運行・繁忙期の本数増、特急全体の収益増を実現

スペースXの
高い乗車効率

日光線特急利用人員
9%増

約80% (※2024年7-9月) (対前年同期比 ※2024年7-9月)

スペースXの需要取り込みを最大化し、
他の日光線特急へも効果を波及

■ 繁忙期におけるバス運行ルートの新設



日光市の脱炭素条例と連携し、GW・お盆・紅葉シーズンに有料道路経由の急行バスを29日間運行

東武日光駅～中禅寺温泉(バスターミナル)
最大120分のところ45分で運行

CO₂排出の削減と速達性向上による回遊機会の創出を
両立し、エリア価値向上とグループ収益拡大へ

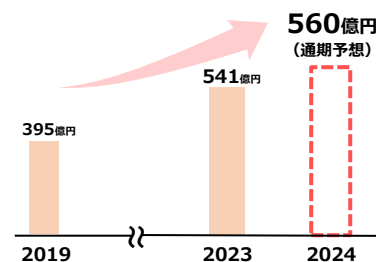
東京スカイツリータウンにおける 観光需要の取り込み

イベントを多数開催、お出かけ需要を取り込み、

東京ソラマチでは**過去最高売上**

東京スカイツリーでは**コロナ前を超える来場者数**を予想

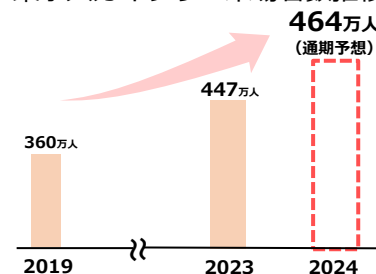
東京ソラマチ売上高推移



台湾祭や新たなコンセプトの
ビアガーデンの開催、話題の
店舗の誘致など、国内外の
お客様がいつ訪れても楽しい
商業施設づくりを推進

リピート客から
インバウンドまで
多様な客層を取り込む

東京スカイツリー来場者数推移



積極的なインバウンド施策等
の実施とともに、営業時間の
延長(2024年4月～)と料金
改定(2024年7月～)を実施

平日や夜間の需要を
積極的に取り込み、
来場者数の拡大へ

沿線観光地の価値を高め、グループ全体で観光需要を収益化する

住みたい・住み続けたい沿線を目指して

地域連携を図った分譲・賃貸住宅事業の展開

■WELL BIND CITY獨協大学前

(2024年5月街びらき)

- ◆統一された街並みや電線地中化をはじめとした、**安全・安心かつ美しい全373邸**の大規模戸建住宅事業
- ◆草加市をはじめとした**産官学5者連携**による継続的な賑わいと交流を創出する街づくり

■ミノリテラス草加(2024年6月全棟オープン)

- ◆既存社宅をリノベーションし、**店舗・広場・農園を併設**した賃貸住宅の供給
- ◆草加市リノベーションスクールとのタイアップ（官民連携）
- ◆**満室稼働中** (2024年11月現在)



▲WELL BIND CITY獨協大学前



▲ミノリテラス草加

地域の魅力を高める商業施設開発の推進

■エキア竹ノ塚

(第1期 2024年5月・第2期 2024年10月 オープン)

- ◆**「ひと」「まち」を繋ぐ**商店街
- ◆アーケードを活かし、竹ノ塚の新たな顔として賑わいを創出

■新越谷ヴァリエ

(第1期 2024年4月・第2期 2024年12月 オープン予定)

- ◆**駅直結立地**のポテンシャルを活かした幅広いお客様向けのテナント誘致
- ◆「越谷アルファーズ」との連携による地域の魅力・情報発信



▲エキア竹ノ塚



▲新越谷ヴァリエ

お客様の利便性を高め、地域社会と連携した付加価値の高い街づくりを推進

株主還元の充実

■ 自己株式取得および消却の実施

2024年 8 月

自己株式取得：710万株、176億円

株式消却：860万株（消却前の発行済株式総数に対する割合4.15%）

■ 配当予想の修正（増配）

2025年 3 月期 （1株当たり配当金） 50円→55円（予定）

中間：25.00円→27.50円へ増配

期末：25.00円→27.50円へ増配予定

■ 政策保有株式の縮減

保有の意義が中長期的に希薄と考えられる株式について、段階的に縮減し
売却資金を成長投資と株主還元に充当

**今後も配当と自己株式取得を組み合わせ、
さらなる株主還元の充実を図る**

当該資料に関する注意事項

この配布資料に記載されている利益等の計画値については、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通し等、国内および諸外国の経済状況その他業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報を基にした予想を前提としています。

従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、この配布資料に記載されている見込値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

本資料に記載の施設名称は東武鉄道株式会社・東武タワースカイツリー株式会社の登録商標です。